

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

篠原地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実績評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

古くからの住宅地で、高低差があり、狭い坂道や階段に囲まれた住宅も多く、外出が困難な高齢者が増加しています。戸建ての住宅が多いため、家の中の様子が分りにくく、孤立しがちでSOSを出せない人が多く、孤独死等も発生しています。経済的に余裕のある家庭や独居の方も多いため、金銭詐欺や悪徳訪問販売、消費者被害等が多い状況です。(振り込め詐欺の被害1000万円単位で起こっています。)認知症の理解不足からくる虐待、介護者に病気や障害があり、家族支援が必要な複雑化したケースが多数あります。最近では8050問題もケースとして上がっています。子育てでは、思い通りの育児が出来ず鬱になる親もいます。(グループで行動するよりは1人で行動することが多い状況です。)福祉の相談イコール民生委員へとになっており、民生委員の負担が大きくなっています。また、若い世代の担い手が少なくなっています。

(2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

身近な地域の相談窓口として、的確にSOSを捉え、5部門や関係機関と連携しながら、解決に向けた取り組みを行いました。

・相談窓口の周知

職員の顔写真入りの包括カード(以下、包括カード)を活用し、自主事業や各講座、地域の会合や出前講座等において、地域ケアプラザの高齢者・障害・子どもも含む幅広い総合相談機能を周知しました。

また、地域の方から「包括の役割や活動内容がわからない」という声を受け、「包括だより」を発行し、包括の役割や活動内容を伝えていきました。

包括だより：2回発行

・出張相談

地域の会合や老人会、ミニデイサービスへ積極的に出向き、情報交換会や出前講座等を行いながら地域の特徴やニーズ把握に取り組みました。

また、昨年度に引き続き、民生委員との連携強化と地域課題の把握を目的に「民生委員児童委員との情報交換会」を実施しました。そこで挙げたケースについて、必要に応じて個別対応を行いました。

民生委員との情報交換会：篠原地区5回、篠原南地区4回

出前講座：14回

消費者被害防止ミニ出前講座：10回

・定期的な情報共有

所内では、日常的な情報共有に加え、毎月定例で行う5職種会議等を通じて地域ニーズを把握・共有し、相談や情報提供に活かしました。
更に、相談内容についてケアプラザ内で共有し、共通課題の抽出や地域課題への展開について協議し、地域ケア会議を開催しました。

5 職種会議：12回

地域ケア会議：個別レベル2回、包括レベル1回

(3) 各事業の連携

- ・毎月5職種会議を開催し、各事業や会議、地域支援記録の共有を行い、事業の検討や今後の支援方針を確認しました。
- ・区社協と毎月定例の連絡会議を実施し、地区支援について検討しました。
- ・区役所、区社協と毎月定例カンファレンスを行い、進捗状況等の確認をしました。
- ・新規開設したCOCOしのはらについて、各部門はじめ区役所、区社協とも連携しながら立ち上げを支援するとともに地域との橋渡しを図りました。

5 職種会議 12回

区社協との連絡会議 9回

定例カンファレンス 12回

エリア会議 1回

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・職員配置基準に準拠した適正な職員配置を行うとともに、法人独自の「求められる職員像」に基づき一人ひとりの経験や課題に応じた人材育成計画を立て職員の資質向上を図りました。
- ・研修や会議を通じ、利用者への適正な事業者情報の提供方法を確認しました。
- ・職員を適正に配置、欠員はありません。
- ・一人ひとりの人材育成計画を作成、課題やキャリアに応じたスキルアップを図りました、新人育成リーダー制度による新人職員の丁寧な育成指導を推進しました。
- ・きめ細やかなOJT、効果的なOFF-JTを通じ、資質向上を図りました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・関係機関の会合等への参加や情報交換を通じ、地域福祉のネットワークづくりを推進しました。
- ・篠原地区デイサービス等職員交流会の継続実施により、顔の見える関係作りを行いました。

篠原福祉ネットワーク 4回出席

民生委員児童委員協議会 13回出席

(篠原地区民生委員児童委員協議会…7回)

(篠原南地区民生委員児童委員協議会…6回)

篠原地区連合自治会長会 7回出席

篠原小地域防災拠点訓練運営委員会 4回

篠原地区デイサービス等職員交流会 3回

(6) 区行政との協働

- ・「わがまち篠原」交流分科会「ともとしのはら」に置いて活動内容の検討や活動運営がスムーズに行くよう区役所・区社協と連携して支援を行いました。
- ・「わがまち篠原」HP 分科会と活動内容や課題を情報共有しました。
- ・市広報ケアプラザ特集や ESCO 事業等においても区行政とともに円滑に実施しました。

ともとも篠原 8回
定例カンファレンス会議 12回
エリア会議 1回
ESCO 事業 9/25-11/30 連絡会議 11回
漏水事故対応
施設間連携会議 1回

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

・子育て支援事業

1) 親子が楽しめる事業を実施し、地域内の親子同士の繋がりを作るきっかけ・交流・仲間づくりの場を開催しました。

2) 参加者自身が子育て関係の新たな担い手として活動していけるよう、過去の事業の参加者に、事業の企画段階から関わっていただきました。

- ・親子学級ふれんど 10回 延べ619名
- ・子育てサロンらっこ 28回 延べ787名
- ・公園遊びしのはランド 15回 延べ567名
- ・パパ支援事業 4回 延べ124名

・高齢者支援事業

地区社協と共催で、地域ケアプラザまで自力で歩いて来られる65歳以上の方を対象にレクリエーションやおしゃべりを通じて、気軽に集まれる居場所として、「しのはら人生一服亭」を実施しました。包括と連携して介護予防の講座等を取り組みました。

- ・しのはら人生一服亭 45回 延べ1750名

・障がい児者支援事業

1) 地域で生活をしている障がい児と「道で会った時に挨拶ができる関係づくりをする」ことを目的に、地域福祉保健計画「わがまち篠原」共催で放課後余暇支援事業「とも・とも篠原」を実施しました。

- ・とも・とも篠原 8回 延べ51名

2) 障がい児を対象に、区内の地域活動ホーム・地域ケアプラザ・区役所・区社協とともに、「こうほく☆なつとも☆2017」を実施しました。

- 「こうほく☆なつとも☆2017」2日間、参加者 延べ8名、
ボランティア 延べ12名

・認知症の理解啓発

認知症についての理解を深め、認知症サポーターとして見守りの目を持っていただくことを目的として篠原地区キャラバンメイト「オレンジ♡しのはら」と協働して認知症サポーター養成講座を開催しました。併せて、地域ケアプラザが福祉保健の身近な窓口であることを周知しています。

・合同文化祭

併設する地区センターと共催で合同文化祭を実施しました。創立20周年を記念して地域住民に感謝を込めた催し物を企画し行いました。

- ・9月23日・24日 約5000名

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・貸館事業を通じた場の提供

- 1) 子育てサロンや高齢者ミニデイサービスなど福祉保健活動団体に対しては、安定した活動ができるよう年間を通して会場を提供しました。
- 2) 登録団体連絡会を開催しました。利用方法の確認や会場利用に関する意見を伺い、団体同士の交流の場を提供しました。
 - ・登録団体連絡会 2月24日
- 3) 新規登録を希望する団体には利用しやすい曜日、時間帯の情報をお知らせし、継続した活動ができるよう働きかけを行いました。
- 4) 登録団体に貸しロッカーを提供し、1年毎に抽選を行い希望する団体が公平に利用できるように案内、調整を行いました。

・施設・地域活動を通じた場の提供

既存の地域活動や区社協、デイサービス等と調整し、ボランティアグループ等が活躍できる場を提供しました。

・その他

誰もが意見や要望を出しやすいよう、「ご意見箱」を設置するとともに、利用者アンケートを実施しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

・ボランティア交流会

ボランティア同士の交流や情報交換の場としてボランティア交流会を実施しました。また、ボランティア活動の際に役立つ情報・知識を提供しました。

・ボランティア交流会 2月15日

・ボランティア募集・啓発

- 1) ボランティアの裾野を拡げることを目的として、ボランティア啓発講座の準備を整えました。
- 2) 地域福祉保健計画「わがまち篠原」と共催する障がい児放課後余暇支援事業「とも・とも篠原」にて、ボランティアを募集し、障がいについての啓発を行いました。
- 3) 子育て中のパパグループ「パパれん」と一緒に、父子で関わる場や父親同士の地域内での交流が持てる事業の企画・運営を行いました。
- 4) H28年度に実施した「味噌作り講座」の参加者の中で、ボランティア登録をしてくださった方の活動を支援しました。

・ボランティアコーディネート

- 1) ボランティアをしたい方には、どのような活動をしたいのか伺いながら、デイサービスやケアプラザを会場にした活動、篠原地区にある活動を紹介しました。また、希望の活動がない場合は、区ボランティアセンターや区民活動支援センター等を紹介しました。
- 2) ボランティア依頼については、ケアプラザ登録ボランティアや事業参加者で協力してくださる方をコーディネートしました。また、地区の「しのはら相談室」にも紹介しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・情報収集

1) 地域内の各種団体定例会等

地区連合自治会、地区社会福祉協議会福祉ボランティアネットワークや地区民生委員児童委員協議会を始めとした地域内の各種定例会議等への参加を通じて、情報交換や各団体の活動に関する相談・要望を把握し、助言や支援を行いました。

- ・篠原地区連合自治会定例会 10回
- ・篠原地区ネットワーク 5回
- ・篠原地区・篠原南地区民生委員児童委員協議会 10回
- ・子育てサークルリーダー会 2回
- ・篠原人生一服亭反省会 2回

2) 地域の現状と課題把握

生活支援コーディネーターと包括と連携して日々の総合相談や民児協の情報交換会等を通じて、小地域の現状や課題把握を行いました。挙げた課題については、地域ケア会議や運営協議会、身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業等を通じて、課題解決に向けて検討を進めました。

- ・篠原・六角橋ネットワーク会議 3回
- ・民生児童委員の情報交換会 9回

・情報発信

1) 広報紙「しのはらのほら」の発行

毎月発行し、自主事業の告知や健康づくりの啓発、介護保険を始めとした制度の紹介を行います。また、自治会掲示板用に内容を抜粋し見やすい形にした「しのはらのほらダイジェスト版」を作成しました。地区連合自治会にて回覧を行うとともに、関係機関にも配布します。さらに、法人のホームページに適宜活動を掲載し、広く周知を行いました。

しのはらのほら 12回発行 約2000枚

しのはら情報かわら版 12回発行 約120部

2) 自主事業チラシの作成

自主事業のチラシを作成し周知しました。

- ・事業チラシ 15回作成

3) 施設内での情報提供

施設内においては利用者が適確に情報を得られるよう、エントランスや2階廊下などの掲示板、ラック、ファイルなどで情報提供します。定期的にチラシの整理を行い、古い情報が残っていないよう点検し、最新の情報が自由に手に取れるようにしています。

・その他

地域住民やケアプラザ利用者の方から、お気づきの点やご意見・ご要望をいただき、よりよい事業運営を行っていくために、ご意見箱の設置や利用者アンケートを実施しました。投函された意見等については、法人の実施要綱に従い掲示などをするとともに、迅速に対応しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・地域支援については、5職種会議及び区社協との打ち合わせの場で地域支援計画を作成し、進捗状況の確認と振り返りを実施しました。
- ・各自治会エリアの情報把握を目的として、5職種で篠原地区と篠原南地区を担当にし、定期的に地域支援の進捗状況を共有と支援方針の確認を行いました。
- ・連携した事業推進を図れるよう、関係機関との会議では、生活支援体制整備事業の進捗状況を可視化して共有しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・地域支援の内容については、日頃から地区支援記録を5職種共通で記載している。また、毎月5職種会議で内容の共有をし、今後の支援の方向性について検討しています。
- ・地域アセスメントの一環として実施している各民児協との自治会エリアごとの情報交換会終了後、区社協と振り返りを実施し、各自治会エリアの情報を整理しました。その後、自治会エリアごとの現状、課題、支援方針等を見える化し、関係機関で共有しました。
- ・情報交換会振り返り終了後、篠原東エリアをモデルに、個別ケースと地形の分析を実施し、より小地域での生活課題の見える化に努めました。

(3) 連携・協議の場

- ・篠原福祉ネットワークや各民児協、連合自治会長会等の地域の会合に積極的に参加し、情報把握に努めました。
- ・通所型サービスBの支援と、そのエリアの健康づくりの推進を目的に、包括及び1層C〇と連携し、協議体・地域ケア会議を合同実施した。通所型サービスB「C〇C〇しのはら」の支援とともに篠原町の健康づくりに対する地域の方同士の対話の場を設けたことにより、顔の見える関係作りの強化につながりました。
- ・介護保険事業所が地域資源の1つとして地域に還元できるようになることを目指し、顔の見える関係づくりを目的とした「篠原地区デイサービス等職員交流会」を継続実施しました。可能な限り5部門が参加し、顔の見える関係作りを推進したとともに、共通の課題として挙げた「人材育成の課題」について、会主催の「介護技術の勉強会」を協働実施しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・区を境に担当エリアが隣接している六角橋CPとの連携を目的に、新たに「篠原・六角ネットワーク会議」を実施しました。共催で地域カフェにて出張介護予防教室を開催しました。ネットワーク会議の目的を整理し、次年度も引き続き連携した取り組みを検討しました。
- ・篠原地区社協の支援として、区社協と協働して地区社協福祉講座を企画実施しました。また、民児協との情報交換会の振り返りから、篠原東地区の地域分析に協働で取り組みました。
- ・通所型サービスB「C〇C〇しのはら」の支援として、隣接しているエリアの城郷小机CPと協働し、認知症予防の「コグニサイズ講座」を実施しました。両エリアでの利用者増につながりました。
- ・今年度発足した「しのはら味噌サポーター」と一緒に健康づくりワークショップの企画をしました。
- ・包括及び保健活動推進員と協働で、ミニデイのボランティア向けに「篠原若返りサポーター養成講座」を実施しました。
- ・昨年度に引き続き、担い手発掘を目的とした「こだわりの手前味噌を作ろう」を実施しました。
- ・城郷小机CPと連携し、「生活支援サービス担い手養成研修」を実施しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 区役所との定例カンファレンスやケアプラザ内 5 職種による会議を毎月開催し、地区支援や個別ケースの検討、情報共有を行いました。
定例カンファレンス：12回（毎月実施）
5 職種会議：12回（毎月実施）
- ・ 民生委員との情報交換会、篠原地区デイサービス交流会、篠原福祉ネットワーク、他区ケアプラザとの打ち合わせ等を通じて情報交換や支援のネットワークづくりを進めました。
民生委員との情報交換会：篠原地区 5 回、篠原南地区 4 回
篠原地区デイサービス交流会：交流会 3 回、勉強会 2 回
篠原福祉ネットワーク：5 回
篠原・六角ネットワーク会議：3 回

② 実態把握

- ・ ケアプラザ内 5 職種による会議の場にて相談件数や傾向を共有し、実態把握に努めました。
5 職種会議：12回（毎月実施）
- ・ 民生委員との情報交換会を実施し、地域の個別課題の抽出を行いました。
民生委員との情報交換会：篠原地区 5 回、篠原南地区 4 回

③ 総合相談支援

- ・ 相談者台帳をデータベースで管理し、どの職員が相談対応しても迅速かつ的確に情報を把握し、継続的に支援できるよう努めました。
相談件数 2,642 件
- ・ 相談者に対し適切な情報が提供できるよう、地域の関係機関に直接出向き情報収集に努めました。
民生委員との情報交換会：篠原地区 5 回、篠原南地区 4 回
- ・ 積極的に地域に出向き、包括カードや広報紙「包括だより」を活用して、地域ケアプラザの相談機能の周知に努めました。
包括だより：2 回発行

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 広報紙「包括だより」やパンフレット、出前講座等を活用して高齢者虐待や消費者被害等の相談窓口であること周知し、普及啓発や注意喚起を行いました。
広報紙「包括だより」：年3回発行
いきいき！セカンドライフ塾：1回(全2回)
消費者被害防止ミニ出前講座：10回
- ・ 専門職による消費者保護や権利擁護に関する相談などの情報提供の場として、「行政書士による無料相談会」を開催しました。
行政書士による無料相談会：1回
- ・ 篠原地区消費生活推進委員の定例会に出席し、地域との情報交換や共催講座を実施しました。
篠原地区消費生活推進員定例会：毎月1回
篠原地区消費生活推進員共催 消費生活啓発講座：2回

② 高齢者虐待への対応

- ・ ケアプラザ内各部門間の情報共有を徹底し、速やかに虐待を発見、対応できる体制の構築に努めました。
5職種会議：毎月1回
- ・ 介護者のつどいの開催を通じて、介護者の介護力の向上や介護負担の軽減を図ることとで、虐待の防止や減少に努めました。
介護者のつどい：6回
- ・ 地域での高齢者虐待防止ハンドブック研修の実施に向け、エリア内デイサービス事業所へハンドブック研修周知を行いました。
高齢者虐待防止ハンドブック研修：1回
- ・ CM事業所やデイサービスとの虐待に関する情報共有を徹底し、協働で対応できる体制の構築に努めました。
篠原地区デイサービス等職員交流会参加：4回

③ 認知症

- ・ 区役所、警察とともにかえるネットを活用した支援体制を構築に努めました。
- ・ 認知症の正しい理解を促進するための取り組みとして、広報紙を活用し周知を行いました。また、地域の認知症キャラバンメイト(オレンジ♡しのはら)と共に、地域の企業や友愛活動推進員、中学生、地域住民等を対象に、認知症サポーター養成講座を企画・実施しました。
また、オレンジ♡しのはらが主体的に講座の企画・実施をすることを目指し、オレンジ♡しのはら連絡会を開催しました。
認知症サポーター養成講座：6回 延べ322人
オレンジ♡しのはら連絡会：6回
デイサービスボランティア：1回

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 地区民児協等の会議に参加し、相談や連携しやすい体制を構築しました。
- ・ 地域ミニデイ、老人クラブ等にて出前講座を実施し、地域住民に介護保険制度の概要説明等や地域ケアプラザ機能や事業の周知を行いました。
出前講座：14回
- ・ 篠原地区及び篠原南地区民生委員児童委員協議会と篠原地域ケアプラザの情報交換会を実施し、個別ケースの課題把握や地域情報及び課題把握を行いました。
民生委員との情報交換会：9回

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 高齢者支援ネットワークの世話人会、研修会に運営補助、ファシリテーターとして参加し、医療・介護との連携を図りました。
世話人会：7回
研修会：3回
- ・ エリア内周辺の11の医療機関へ個別に訪問し、相談や連携しやすい体制を構築しました。
- ・ 10月27日に大豆戸・樽町・城郷小机と共催で、医師とケアマネジャーとの懇談会を実施しました。医師11名、ケアマネジャー20名参加。
- ・ ケアマネジャーと訪問歯科医院との連携促進の為、しのはらケアマネアカデミーにおいて、港北歯科医師会訪問歯科医院名簿を配布しました。
- ・ 区役所、区内包括主任ケアマネジャー連絡会と合同で、ケアマネジャー、MSWと訪問看護の懇談会、またケアマネジャーを対象としたアルコール依存症の研修を行いました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ 新任ケアマネジャーに対する研修を区役所、区内包括主任ケアマネジャー連絡会と合同で開催しました。また、大豆戸・樽町と共催で、新任ケアマネジャー及び前年度のOB向けの勉強会を行いました。
新任ケアマネジャー勉強会：5回
新任ケアマネジャー勉強会OB会：3回
- ・ エリア内周辺のケアマネジャーを対象とした研修会、しのはらケアマネアカデミーを開催しました。
11月：相談面接技術 12名参加
3月：鉛筆一本方式事例検討会 12名参加
- ・ 区内の主任ケアマネジャーを対象とした意見交換会、スキルアップ研修を区役所、区内包括主任ケアマネジャー連絡会と合同で2回開催しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 個別ケースの支援内容の検討を行うと共に、地域の課題等について地域住民と支援者で共通理解を図る個別ケース地域ケア会議を7月、1月に2回実施しました。
- ・ 単一自治会の情報共有、地域課題検討、今年度開所した地域拠点の縁結びを図る包括レベル地域ケア会議を11月に実施しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 区域で介護予防ケアマネジメント研修を開催し、ICFを活用してプランを作成することで、利用者主体の自立に向けた支援ができるよう研修を実施しました。
- ・ 地域アセスメントシート、エリア会議、定例カンファ、5職種会議等で地域資源を把握し、介護予防ケアマネジメントに活用しました。

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務研修 1回開催

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ ロコモ予防教室を開催し、ロコモ予防のための体操、栄養、口腔ケアについて周知を行いました。
- ・ ミニデイサービスなどで、認知症予防のためのコグニサイズや、介護予防のための口腔ケア、フットケアについて出前講座を実施し、介護予防の普及啓発を行いました。
- ・ 菊名寿楽荘と共催で、介護予防のための尿失禁予防の講座を開催し、介護予防の普及啓発を図りました。
- ・ 介護予防のための健康づくりの体操と成年後見・遺言についてを併せた講座を開催し、介護予防の普及啓発を行いました。
- ・ 「しのはら楽遊会」の継続的かつ自主的な活動への支援を、保健活動推進員とともに実施しました。
- ・ 生活支援体制整備と協働し、ミニデイサービスのボランティア向けに、活動支援に繋がるようコグニサイズの講座を開催しました。
- ・ 生活支援体制整備、地域活動交流と連携し、健康づくりや新たな担い手発掘を目的に、健康づくりワークショップを実施しました。
- ・ 健康に関する個別ニーズから地域ニーズを把握するため、健康に関する調査を実施しました。

ロコモ予防教室、GOGO 健康！教室 各 1 コース（全 4 ～ 5 回）実施 （菊名自治会館・COCO しのはら）

ミニデイサービスでの出前講座 6 回実施

「いきいき！セカンドライフ塾」 1 回（全 2 回）実施

「しのはら楽遊会での体操講師による講座 2 回実施

「しのはら楽遊会」次年度の活動について打合せ 1 回実施

カフェふれ～る出張介護予防教室 1 回実施

城郷小机 CP 共催「COCO しのはら」でのコグニサイズの講座 1 回実施

菊名寿楽荘共催「骨盤底筋力アップ講座」 1 回実施

健康づくりワークショップ「簡単椅子ヨガと味噌玉づくり」 1 回実施

健康づくりワークショップ「こだわりの手前味噌を作ろう」 1 回実施

ミニデイサービスのボランティアを対象としたコグニサイズの講座 1 回実施

ミニデイサービスで活用できるようコグニサイズの資料を作成 各ミニデイサービスに配布

健康に関するアンケート 152 件実施

元気づくりステーション「富士塚いこいの会」「ゆっくり歩幸会」次年度の活動について打合せ 1 回実施

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

日常清掃や定期清掃により施設を清潔に保持するとともに、建築物・建築設備・電気・消防等の各種法令に基づいた保守点検作業を実施しました。

設備管理についても、日常点検と合わせ専門業者による定期点検を実施して早期発見、早期修理を心がけました。

また、快適かつ安全に利用できるよう、計画的に施設・設備改修を実施して行きま
す。長寿命化を図るため施設の状況を的確に把握し、併設する地区センターや区役所
等と十分連絡を取りながら施設の維持管理に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

各部門の横の連携を密にし、地域課題や情報の共有化をより一層図るとともに、地
域の関係機関・団体との役割分担や協働を図り、より効率的な事業運営を実施しまし
た。

また、限られた予算の中で効率的運営を行うため、職員一人ひとりが常に経費の削
減、資源の有効活用を心掛け取り組みました。

人員についても業務量と具体的業務手順を定期的に見直し、適正な配置を行いまし
た。

(3) 苦情受付体制について

法人の「苦情解決規則」及び「苦情解決規則に基づく苦情相談対応マニュアル」に
沿って、苦情受付の体制を整えました。

受付担当者→実務責任者（所長）→ 所管部長 → 苦情解決推進チーム → 総括責
任者という流れにより苦情の解決にあたった。また、受け付けた苦情については、法
人内で情報共有をしました。

苦情解決調整委員（第三者委員）として、法律・福祉・人権の各分野の方に依頼し、
上記仕組みの中で対応できなかった場合の対応や苦情解決に係わる助言をもらいな
がら、円滑な解決とサービスの改善に努めました。

また、法人全体の取組として「ご意見箱」を設置し、苦情だけではなく、様々なご
意見・ご要望をいただける体制を整えました。苦情やご意見・ご要望については、利
用者の方からの貴重な意見として真摯に受け止め、職員で共有しサービス向上を図り
ました。

さらに、法人内の他施設の苦情等についても所長会で共有し、法人全体で業務改善
につなげました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

事故・災害等対応マニュアルを整備し、万が一の事故発生に備えます。事故発生時には、施設内、法人内、地区センター並びに行政と速やかに連絡が取れるよう体制を整えました。

また、災害時特別避難場所として災害時の備蓄物資を適正に保管し、人員の確保、役割の執行が行えるよう、行政と連携して体制を整備しました。

火災・地震等の災害を想定した避難訓練を地区センターと合同で適正（2回以上）に実施するとともに、職員の参集訓練等を行い、緊急時に迅速な対応できるよう備えました。

(5) 事故防止への取組について

運営施設の事故報告だけでなく、法人全体における事故報告を集計分析するとともに、法人内の所長会で報告された内容を速やかに職員間で共有しました。

その結果を受けて、施設で事故の分析や再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に役立てました。

また、各部門の代表職員で構成された「リスクマネジメント委員会」を定期的（月1回）に開催し、事故事例やヒヤリハット事例の集計・分析等を行い、施設全体で「リスクマネジメント」に取り組んできました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び法人の「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報の保護に努めました。

職員には、法人内及び施設において個人情報保護に関する研修を実施し、意識啓発並びに体制整備を行い個人情報の保護に努めます。朝・夕のミーティングの際に、業務前後のチェックリストを利用し、個人情報の適正な取扱いについてヒューマンエラーを防ぎました。

また、法人の取組みについて、本会ホームページに掲載するとともに、「個人情報取扱業務概要説明書」を各施設窓口に整備しました。

(7) 情報公開への取組について

法人の「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する情報の公開に関する規程」に基づき情報の公開について準備しました。

また、法人の情報や予算・決算・事業内容等をホームページ掲載すると同時に、来館者が閲覧できるよう窓口に整備しました。

(8) 人権啓発への取組について

人権をテーマにした法人内の職員研修や管理職研修に積極的に参加するとともに、施設内の職員全体研修を実施し、人権への意識啓発を図った。

また、地域に向けた認知症サポーター養成講座や障害者理解啓発講座等の開催を通じ、人権への理解推進を広く図りました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市が提唱する「ヨコハマ3R夢」に基づき、引き続き、ごみの少量化、再資源化に努めました。

特に夏季においては、クールビズ運動を法人全体で実施し（5/1～10/31）、室内温度を28度に設定し軽装にて業務を行うとともに、節電に努め、不要時の消灯や事務機器等の電源を切ることの徹底、ブラインドやカーテンの使用等により省エネに取り組んだ。通所介護ではゴーヤのグリーンカーテンを作成し省エネに努めました。

下半期は、ESCO事業として光熱費の削減を目標に大掛かりな、設備改善を図りました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 保健師等 1名（常勤兼務）
- 主任ケアマネジャー 1名（常勤専従）
- 社会福祉士 2名（常勤専従）
- 介護支援専門員 4名（非常勤）

《目標に対する成果等》

1. 地域の高齢者が日常生活において、本人ができることはできる限り行うことを基本に、利用者の主体的な活動と地域への参加意欲を高められるようなケアマネジメントに努めました。
2. 適切なケアマネジメントが行えるよう、エリア内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象とした勉強会の開催や、区域や法人内でも介護予防支援研修を開催し職員の資質向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者の負担金はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防支援ケアマネジメント業務について、様々な情報を出来るだけ早く把握し、情報提供の場を作り関係者との連携を図れるよう努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 284 | 273 | 281 | 273 | 274 | 275 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 284 | 292 | 278 | 272 | 276 | 269 |

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名（常勤兼務）、常勤 1 名、非常勤 6 名

《目標に対する成果等》

訪問活動を業務の中心に引き続き据えながら、高齢者の快適な在宅生活を支えるために、研修会等の参加を通じて資質の向上を継続して図りました。

- ① 公正・中立の立場を堅持し、より利用者・家族ニーズを大切にしたケアプラン作成を心がけました。
- ② 施設見学や地域包括支援センターとの連携・研修の共催により、地域の社会資源状況の確認・把握を行うとともに、関連の研修や会議には積極的に参加し、利用者の状態に則した個別的なニーズに応えるようにしました。
- ③ 「情報公開」「個人情報の管理」を重視し、居宅関係書類の整備並びに管理を徹底し、培った地域信頼を維持しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者の負担金はありません。ただし、保険料滞納等により、サービス提供地域をこえる地域への訪問・出張を行う必要がある場合にはその利用した公共交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

利用者が初めて介護サービスを利用する際に戸惑うことがないように、ケアプラザの長所を生かし、地域包括支援センターや関係機関と連携しながら支援をすすめました。

《利用者実績（要介護要支援）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 226 | 229 | 227 | 225 | 218 | 220 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 223 | 222 | 227 | 221 | 227 | 215 |

● 通所介護

《提供するサービス内容》

● 通所介護（5時間以上7時間未満）

生活相談（相談援助等）、介護サービス、健康状態の確認、送迎、給食、入浴、個別機能訓練、口腔機能向上、レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

| | |
|--------|-------|
| （要介護1） | 614円 |
| （要介護2） | 725円 |
| （要介護3） | 837円 |
| （要介護4） | 948円 |
| （要介護5） | 1060円 |

● 2割負担分

| |
|-------|
| 1227円 |
| 1450円 |
| 1673円 |
| 1896円 |
| 2119円 |

加算額

| | | |
|--------------|-----|------|
| ・入浴加算 | 54円 | 108円 |
| ・体制強化加算Ⅰイ | 20円 | 39円 |
| ・個別機能訓練加算Ⅱ | 60円 | 120円 |
| ・中重度者ケア体制加算 | 49円 | 97円 |
| ・介護職員処遇改善加算Ⅰ | | |

所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。

● 食費負担（昼食、おやつ代65円を含む） 750円

● 行事代（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

行事代については実施に先立ち、利用者家族了承の下に徴収することとしています。

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:15 ～ 15:20

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 7名（常勤兼務3名、非常勤兼務4名）
- 看護職員 6名（非常勤兼務）
- 介護職員 21名（常勤兼務3名、非常勤兼務18名）
- 機能訓練指導員 6名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

利用者一人ひとりを大切に、その人らしく地域で生き活きと健やかに過ごせるよう、また、利用者自らが選択することを大切できるよう支援しました。

- ① 介護保険制度の趣旨を踏まえながら、事業経営環境の変化に十分対応できるよう、常勤・非常勤の事務分掌・役割分担の見直しを行うと共に、職員の総合力が発揮できるよう、研修機会の充実を図りました。
- ② 各職員が自身のスキルを明らかにした上で目標を設定して、利用者サービスに反映できるよう、さらなるスキルアップに努めました。
- ③ お困りの方に対して、受け身ではなく、職員から積極的に思いやりの声かけを行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 地域のボランティア等の協力により、利用者の関心に沿う内容（書道、水彩画、俳句、麻雀、園芸、フラワーアレンジ、塗り絵、歌の会等）を盛り込んだ趣味活動を実施しました。毎日のプログラムを午前と午後に設定し、午前においてカレンダー作りや「頭の体操」といった“静”のレクリエーション、午後はグループに分けて体を使う“動”のレクリエーションを行い、一日の中でメリハリをつけた内容で実施しました。集団体操にも力を入れ、職員が体操の円の中に入ることで、ご自分で手足を動かさない方への支援を行いました。
- ② 昼食及びおやつにおいて季節を感じられるような献立の提供に努めました。毎月最終週には「誕生日週間」として昼食に松花堂弁当を用意し、当該月が誕生日にあたる利用者のお祝いカードを準備して、みなさんとお祝いを行いました。また、昼食バイキングや、ドリンクバイキングを取り入れ、ご利用者が選択していただけるような内容を提供しました。
- ③ 利用者はもとより利用者の家族や関係機関に対して、事業の様子やプログラムを周知するために、毎月1回、広報紙を発行しました。
- ④ 今年度も実習生を積極的に受け入れました。大学生だけではなく、地域の小・中学生との交流も積極的に行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 746 | 784 | 780 | 810 | 773 | 761 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 754 | 744 | 693 | 647 | 662 | 812 |

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

介護予防通所介護・第1号通所事業（5時間以上7時間未満）
生活相談（相談援助等）、介護サービス、健康状態の確認、送迎、給食、入浴、
運動器機能向上、口腔機能向上、レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 1766円
（要支援2） 3621円

・体制強化加算Ⅰイ

（要支援1） 78円
（要支援2） 155円

・介護職員処遇改善加算Ⅰ

所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。

● 2割負担分

3531円
7241円

● 食費負担（昼食、おやつ代65円を含む） 750円

● 行事代（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

行事代については実施に先立ち、利用者家族了承の下に徴収することとして
います。

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:15 ～ 15:20 （半角で入力 例9:00～15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 7名（常勤兼務3名、非常勤兼務4名）
- 看護職員 6名（非常勤兼務）
- 介護職員 21名（常勤兼務3名、非常勤兼務18名）
- 機能訓練指導員 6名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

利用者一人ひとりを大切にし、その人らしく地域で生き生きと健やかに過ごせる
よう、また、利用者自らが選択することを大切できるよう支援しました。

- ① 介護保険制度の趣旨を踏まえながら、事業経営環境の変化に十分対応できるよ
う、常勤・非常勤の事務分掌・役割分担の見直しを行うと共に、職員の総合力
が発揮できるよう、研修機会の充実を図りました。
- ② 各職員が自身のスキルを明らかにした上で目標を設定して、利用者サービスに
反映できるよう、さらなるスキルアップに努めました。
- ③ お困りの方に対して、受け身ではなく、職員から積極的に思いやりの声かけを
行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 地域のボランティア等の協力により、利用者の関心に沿う内容（書道、水彩画、
俳句、麻雀、園芸、フラワーアレンジ、塗り絵、歌の会等）を盛り込んだ趣味
活動を実施しました。毎日のプログラムを午前と午後に設定し、午前において
カレンダー作りや「頭の体操」といった“静”のレクリエーション、午後はグ
ループに分けて体を使う“動”のレクリエーションを行い、一日の中でメリハ

りをつけた内容で実施しました。集団体操にも力を入れ、職員が体操の円の中に入ることで、ご自分で手足を動かさない方への支援を行いました。

- ② 昼食及びおやつにおいて季節を感じられるような献立の提供に努めました。毎月最終週には「誕生日週間」として昼食に松花堂弁当を用意し、当該月が誕生日にあたる利用者のお祝いカードを準備して、みなさんとお祝いを行いました。また、昼食バイキングや、ドリンクバイキングを取り入れ、ご利用者が選択していただけるような内容を提供しました。
- ③ 利用者はもとより利用者の家族や関係機関に対して、事業の様子やプログラムを周知するために、毎月1回、広報紙を発行しました。
- ④ 今年度も実習生を積極的に受け入れました。大学生だけではなく、地域の小・中学生との交流も積極的に行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| | | | | | |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 8 | 10 | 11 | 11 | 12 | 13 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 14 | 14 | 14 | 12 | 12 | 13 |

平成29年度「横浜市篠原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

(税込、単位：円)

収入の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|----------------------|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|----------------|-------|
| 指定管理料 | 15,403,960 | 215,853 | 15,188,107 | 15,188,107 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 指定管理料充当 事業 | 0 | | 0 | 179,750 | 179,750 | |
| 自主事業収入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 雑入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷代 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自動販売機手数料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 駐車場利用料金収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 (指定管理料充当) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 (施設使用料相当額 法人負担分) | 3,185,000 | | 3,185,000 | 3,185,000 | 0 | |
| その他 (提案時控除 法人負担分) | 2,940,000 | | 2,940,000 | 2,940,000 | 0 | |
| 収入合計 | 21,528,960 | 215,853 | 21,313,107 | 21,492,857 | 179,750 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|--------------------|-------------------|----------|-------------------|-------------------|------------------|-----------|
| 人件費 | 11,387,000 | 0 | 11,387,000 | 9,954,820 | 1,432,180 | |
| 本俸 | 5,320,000 | | 5,320,000 | 7,722,442 | 2,402,442 | |
| 社会保険料 | 455,000 | | 455,000 | 683,764 | 228,764 | |
| 手当計 | 1,188,000 | | 1,188,000 | 1,477,489 | 289,489 | |
| 健康診断費 | 455,000 | | 455,000 | 8,206 | 446,794 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 5,000 | | 5,000 | 6,750 | 1,750 | ハマふれんど |
| 退職給付引当金繰入額 | 44,000 | | 44,000 | 56,169 | 12,169 | |
| その他 | 3,920,000 | | 3,920,000 | 0 | 3,920,000 | |
| 事務費 | 1,886,000 | 0 | 1,886,000 | 747,550 | 1,138,450 | |
| 旅費 | 12,000 | | 12,000 | 16,040 | 4,040 | |
| 消耗品費 | 194,000 | | 194,000 | 167,448 | 26,552 | |
| 会議賄い費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 1,000 | | 1,000 | 0 | 1,000 | |
| 通信費 | 311,000 | | 311,000 | 427,472 | 116,472 | |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | 25,000 | | 25,000 | 0 | 25,000 | |
| 図書購入費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 施設賠償責任保険 | 0 | | 0 | 10,047 | 10,047 | |
| 職員等研修費 | 8,000 | | 8,000 | 16,240 | 8,240 | |
| 振込手数料 | 4,000 | | 4,000 | 6,804 | 2,804 | |
| リース料 | 37,000 | | 37,000 | 93,843 | 56,843 | |
| 手数料 | 0 | | 0 | 2,156 | 2,156 | |
| 地域協力費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 1,294,000 | | 1,294,000 | 7,500 | 1,286,500 | |
| 事業費 | 361,000 | 0 | 361,000 | 200,980 | 160,020 | |
| 運営協議会経費 | 42,000 | | 42,000 | 7,261 | 34,739 | 予算：指定額 |
| 指定管理料充当 事業 | 319,000 | | 319,000 | 193,719 | 125,281 | |
| 管理費 | 6,984,000 | 0 | 6,984,000 | 4,797,290 | 2,186,710 | |
| 建築物・建築設備点検 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 予算：指定額 |
| 光熱水費 | 2,882,323 | 0 | 2,882,323 | 2,882,323 | 0 | |
| 電気料金 | 366,947 | | 366,947 | 366,947 | 0 | |
| ガス料金 | 387,009 | | 387,009 | 387,009 | 0 | |
| 水道料金 | 2,128,367 | | 2,128,367 | 2,128,367 | 0 | |
| 清掃費 | 1,300,000 | | 1,300,000 | 1,374,864 | 74,864 | |
| 修繕費 | 474,000 | 0 | 474,000 | 258,147 | 215,853 | 予算：指定額 |
| 機械警備費 | 83,000 | | 83,000 | 82,563 | 437 | |
| 設備保全費 | 250,000 | 0 | 250,000 | 164,989 | 85,011 | |
| 空調衛生設備保守 | 213,000 | | 213,000 | 135,025 | 77,975 | |
| 消防設備保守 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 電気設備保守 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 22,000 | | 22,000 | 22,223 | 223 | |
| 駐車場設備保全費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 15,000 | | 15,000 | 7,741 | 7,259 | |
| 共益費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 1,994,677 | | 1,994,677 | 34,404 | 1,960,273 | |
| 公租公課 | 910,960 | 0 | 910,960 | 796,385 | 114,575 | |
| 事業所税 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 消費税 | 910,960 | | 910,960 | 796,385 | 114,575 | |
| 印紙税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 () | | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務経費 (計算根拠を説明欄に記載) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 本部分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 当該施設分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 二一ズ対応費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 21,528,960 | 0 | 21,528,960 | 16,497,025 | 5,031,935 | |
| 差引 | 0 | 215,853 | 215,853 | 4,995,832 | 5,211,685 | |

| | | | | | | |
|---------|---------|---|---------|---------|---------|----------------------|
| 自主事業費収入 | 319,000 | | 319,000 | 0 | 319,000 | 予算：指定管理料に含む |
| 自主事業費支出 | 319,000 | | 319,000 | 193,719 | 125,281 | |
| 自主事業収支 | 0 | 0 | 0 | 193,719 | 193,719 | ⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|---|---|---|-------------------------|
| 管理許可・目的外使用許可収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費 |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |

平成29年度「横浜市篠原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|------------------|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|---------------|-------|
| 指定管理料(包括) | 28,860,000 | 246,383 | 28,613,617 | 28,613,617 | 0 | 横浜市より |
| 指定管理料(介護予防) | 151,000 | | 151,000 | 151,000 | 0 | 横浜市より |
| 指定管理料(生活支援) | 5,789,000 | 0 | 5,789,000 | 5,789,000 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | | | 0 | | 0 | |
| 指定管理料充当事業(包括) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 指定管理料充当事業(介護予防) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 指定管理料充当事業(生活支援) | 0 | | 0 | 23,250 | 23,250 | |
| 自主事業収入 | | | 0 | | 0 | |
| 雑入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷代 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自動販売機手数料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 駐車場利用料金収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(指定管理充当分) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(提案時控除 法人負担分) | 2,648,000 | | 2,648,000 | 2,648,000 | 0 | |
| 収入合計 | 37,448,000 | 246,383 | 37,201,617 | 37,224,867 | 23,250 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|-------------------|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|------------------|--------------|
| 人件費 | 32,689,000 | 0 | 32,689,000 | 30,783,871 | 1,905,129 | |
| 本俸 | 19,122,000 | | 19,122,000 | 16,291,350 | 2,830,650 | |
| 社会保険料 | 3,060,000 | | 3,060,000 | 4,034,078 | 974,078 | |
| 手当計 | 8,066,000 | | 8,066,000 | 9,334,759 | 1,268,759 | |
| 健康診断費 | 30,000 | | 30,000 | 42,128 | 12,128 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 30,000 | | 30,000 | 32,250 | 2,250 | ハマふれんど |
| 退職給付引当金繰入額 | 2,381,000 | | 2,381,000 | 1,049,306 | 1,331,694 | |
| その他 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務費 | 1,640,000 | 0 | 1,640,000 | 1,299,581 | 340,419 | |
| 旅費 | 51,000 | | 51,000 | 43,363 | 7,637 | |
| 消耗品費 | 109,000 | | 109,000 | 97,544 | 11,456 | |
| 会議備い費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 42,000 | | 42,000 | 61,560 | 19,560 | |
| 通信費 | 454,000 | | 454,000 | 398,169 | 55,831 | |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | 196,000 | | 196,000 | 219,456 | 23,456 | 120096+99360 |
| 図書購入費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 施設賠償責任保険 | 0 | | 0 | 2,671 | 2,671 | |
| 職員等研修費 | 19,000 | | 19,000 | 18,497 | 503 | |
| 振込手数料 | 8,000 | | 8,000 | 8,424 | 424 | |
| リース料 | 136,000 | | 136,000 | 349,773 | 213,773 | |
| 手数料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 地域協力費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 625,000 | | 625,000 | 100,124 | 524,876 | |
| 事業費 | 1,262,000 | 0 | 1,262,000 | 891,019 | 370,981 | |
| 協力医 | 630,000 | | 630,000 | 441,000 | 189,000 | 予算:指定額 |
| 指定管理料充当自主事業(包括) | 172,000 | | 172,000 | 21,817 | 150,183 | |
| 指定管理料充当事業(介護予防) | 151,000 | | 151,000 | 152,550 | 1,550 | 予算:指定額 |
| 指定管理料充当自主事業(生活支援) | 309,000 | | 309,000 | 275,652 | 33,348 | 予算:指定額 |
| 管理費 | 1,857,000 | 0 | 1,857,000 | 1,275,220 | 581,780 | |
| 建築物・建築設備点検 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 予算:指定額 |
| 光熱水費 | 766,187 | 0 | 766,187 | 766,187 | 0 | |
| 電気料金 | 97,543 | | 97,543 | 97,543 | 0 | |
| ガス料金 | 102,876 | | 102,876 | 102,876 | 0 | |
| 水道料金 | 565,768 | | 565,768 | 565,768 | 0 | |
| 清掃費 | 332,000 | | 332,000 | 365,469 | 33,469 | |
| 修繕費 | 126,000 | | 126,000 | 68,617 | 57,383 | 予算:指定額 |
| 機械警備費 | 20,000 | | 20,000 | 21,947 | 1,947 | |
| 設備保全費 | 91,000 | 0 | 91,000 | 43,856 | 47,144 | |
| 空調衛生設備保守 | 52,000 | | 52,000 | 35,892 | 16,108 | |
| 消防設備保守 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 電気設備保守 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 5,000 | | 5,000 | 5,907 | 907 | |
| 駐車場設備保全費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 34,000 | | 34,000 | 2,057 | 31,943 | |
| 共益費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 521,813 | | 521,813 | 9,144 | 512,669 | |
| 公租公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業所税 | | | 0 | | 0 | |
| 消費税 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 印紙税 | | | 0 | | 0 | |
| その他() | | | 0 | | 0 | |
| 事務経費(計算根拠を説明欄に記) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 本部分 | | | 0 | | 0 | |
| 当該施設分 | | | 0 | | 0 | |
| 二一ズ対応費 | | | 0 | | 0 | |
| 支出合計 | 37,448,000 | 0 | 37,448,000 | 34,249,691 | 3,198,309 | |
| 差引 | 0 | 246,383 | 246,383 | 2,975,176 | 3,221,559 | |

| | | | | | | |
|---------|---------|--|---------|---------|---------|----------------------|
| 自主事業費収入 | 632,000 | | 632,000 | 23,250 | 608,750 | 予算:指定管理料に含む |
| 自主事業費支出 | 632,000 | | 632,000 | 450,019 | 181,981 | |
| 自主事業収支 | 0 | | 0 | 426,769 | 426,769 | ⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|--|---|--|------------------------|
| 管理許可・目的外使用許可収入 | 0 | | | 0 | | 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | 0 | | | 0 | | 使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費 |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | 0 | | | 0 | | |

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 篠原地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

| | 科目 | 介護予防支援 | 居宅介護支援 | 通所介護 | 予防通所介護・ 第1号通所介護 |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------------|
| | 収入 | 介護保険収入 | 6007 | 31381 | 74589 |
| その他 | | 10456 | 413 | 17421 | 529 |
| 介護予防ケアマネジメント 費 | | | | | |
| 事業・負担金収入 | | 10456 | 413 | 9600 | 529 |
| 雑収入 | | | | 2 | |
| 介護負担金収入 | | | | 37 | |
| 食費 | | | | 7404 | |
| その他 | | | | 378 | |
| 収入合計(A) | | 16463 | 31794 | 92010 | 4705 |
| 支出 | | 人件費 | 7946 | 25605 | |
| | 事務費 | 23 | 78 | | 301 |
| | 事業費 | 5742 | 944 | | 25122 |
| | 管理費 | | | | |
| | その他 | 5 | 0 | | 59 |
| | 利用者負担軽減額 | | | | 59 |
| | 消費税 | | | | |
| | 介護予防プラン委託料 | | | | |
| | | | | | |
| | その他 | 5 | | | |
| 支出合計(B) | 13716 | 26627 | | 86516 | |
| 収支 (A) - (B) | 2747 | 5167 | | 10199 | |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|------|--|---------|
| 出前講座 | <p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 地域の老人会やミニデイサービスに出向き、健康・介護予防や介護保険などの講座を行うことで、ケアプラザや包括の周知と、各老人会やミニデイサービスの継続を支援する。</p> <p>【実施内容等】 介護保険制度、口腔ケア、認知症、コグニサイズ、フットケア、消費者被害</p> | 通年・14回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------------------|--|----------|
| しのはら ケアマネ アカデミー | <p>【対象者】 エリア内周辺のケアマネジャー</p> <p>【目的】 ケアマネジャーの質の向上</p> <p>【実施内容等】 ・相談面接技術の基礎について・鉛筆一本方式事例検討会</p> | 11、3月・2回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--|--|---------|
| 区役所・区内包括主任ケアマネジャー共催 港北区の主任ケアマネジャースキルアップ研修 | <p>【対象者】 主任ケアマネジャー</p> <p>【目的】 主任ケアマネジャーの質の向上と、包括・居宅の主任ケアマネジャーの連携促進</p> <p>【実施内容等】 課題総括整理表について</p> | 11月・1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------------|--|----------------------|
| いきいき！セカンドライフ塾 | <p>【対象者】 60歳以上の方</p> <p>【目的】 第2の人生（セカンドライフ）がより充実したものとなるよう、自分の健康や権利擁護について考える機会の提供</p> <p>【実施内容等】 ・成年後見制度と遺言・相続について ・健康づくりのための体操</p> | 1月20日 1月25日 2回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|------------------|---|----------|
| 行政書士による 無料相談会 | 【対象者】 地域の方 【目的】 成年後見・遺言・相談等について、地域の方に向けて無料相談会を実施 【実施内容等】 行政書士による無料相談会 | 1月27日・1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------------|---|--|
| 認知症サポーター 養成講座 | 【対象者】 企業・友愛活動推進員・中学生・地域の方など 【目的】 認知症についての理解を深め、認知症サポーターとして見守りの目を持っていただくことを目的として「オレンジのほら(篠原地区キャラバン・メイト連絡会)」のメンバーと一緒に企画実施 【実施内容】 認知症サポーター養成講座 | 6月16日 9月22日 10月31日 12月16日 2月22日 2月6日 ・ 6回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------------------------------|--|---|
| オレンジのほら (篠原地区キャラバン・メイト連絡会) | 【対象者】 篠原地区キャラバン・メイト 【目的】 認知症サポーター養成講座開催に向け連絡会を開催 【実施内容等】 認知症サポーター養成講座の役割分担や解説・寸劇内容について | 4月26日 6月1日 9月4日 10月12日 2月5日 3月29日 ・ 6回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------------|---|---|
| 消費者被害防止 ミニ講座 | 【対象者】 篠原地区ミニデイサービス参加者 【目的】 消費者被害の抑止を目的として、篠原地区のミニデイサービス参加者に向けた消費者被害防止ミニ講座を開催 【実施内容等】 よくある消費者被害の手口とクーリングオフについて | 11月14日 11月17日 11月20日 1月18日 2月13日 2月15日 2月19日 2月20日 3月1日 3月9日 ・ 10回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------------|---|---|
| 子育てサロン らっこ | <p>【対象者】 未就園児と保護者</p> <p>【目的】 地域の中での仲間づくりや子育て相談を気軽に行う場の提供をする。</p> <p>【実施内容等】 年4回季節行事や集団遊びを取り入れたイベントを実施する。</p> | 通年事業 毎月第2・4火曜日 イベント年5回 6月17日 9月3日 9月23日 12月16日 2月17日 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|---|
| しのはランド | <p>【対象者】 未就園児と保護者</p> <p>【目的】 公園遊び等を通じて地域の中での異世代間交流を行う。</p> <p>【実施内容等】 年4回のサロンや小規模多機能施設と協力して季節イベントを実施する。</p> | 通年事業（公園遊び） 毎月第1月曜日 イベント年6回 6月29日 9月16日 9月21日 11月15日 12月17日 2月21日 17回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------|--|-------------------------|
| 親子学級ふれんど | <p>【対象者】 3,4歳児と保護者</p> <p>【目的】 集団生活の準備や地域の仲間づくりを行う。工作などを楽しみながら集団生活のルールを学ぶ場を提供する。</p> <p>【実施内容等】 みこし作り、パン食い競争、お芋ほ掘り、遠足、お団子作り他</p> | 通年事業 毎月第2土曜日 全10回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|------------------------------------|
| パパ支援事業 | <p>【対象者】 小学低学年までの子と父</p> <p>【目的】 季節行事を通じて父親の子育てに対する理解・興味を深め、父子関係を深めること、地域内の父親同士の繋がりを作る場を提供する。</p> <p>【実施内容等】 リトミック、調理プログラム</p> | 6月4日 8月26日 10月29日 2月4日・4回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------------------------|--|-------------------|
| 文化祭篠原地区センター・篠原地域ケアプラザ合同文化祭 | <p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 地域に向けて、地域ケアプラザの周知とともに日頃活動している団体のPRの場を作る。</p> <p>【実施内容等】 20周年記念式典、コンサート、模擬店（飲食）、フリーマーケット、展示、ゲーム、ワークショップ、スタンプラリー等</p> | 9月23日 9月24日・2回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------|---|------------------------|
| しのはら人生一服 | <p>【対象者】 65歳以上で自力でケアプラザまで来ることができる方。</p> <p>【目的】 気軽に集まれる居場所を提供する。</p> <p>【実施内容等】 茶話会、合唱、レクリエーション、コンサート等</p> | 通年事業 毎週水曜日 年間45回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------------|--|-------------------|
| こうほく☆なつとも☆2017 | <p>【対象者】 区内在住または在学の小学1年～中学3年生までの障がい児</p> <p>【目的】 夏休み期間の障がい児余暇支援を行う。</p> <p>【実施内容等】 体験プログラム他</p> | 7月22日 7月26日・2回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------------------|--|---|
| 障がい児放課後余暇支援事業「とも・とも篠原」 | <p>【対象者】 個別支援級に通う小学5年～中学3年生</p> <p>【目的】 地域で生活している障がい児と道で会った時に挨拶ができる顔の見える関係を作る。</p> <p>【実施内容等】 体験プログラム、調理プログラム</p> | 6月6日 7月4日 8月1日 9月5日 11月7日 12月5日 2月6日 3月6日・8回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|---|----------|
| 登録団体連絡会 | <p>【対象者】 貸館登録団体</p> <p>【目的】 地域ケアプラザの役割や貸館利用のルール周知・意見交換を行い、利用団体同士の交流を図るために実施する。</p> <p>【実施内容等】 連絡会</p> | 2月24日・1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------|---|----------|
| ボランティア交流会 | <p>【対象者】 ケアプラザ登録ボランティア・共催事業ボランティア・デイサービスボランティア</p> <p>【目的】 ボランティア同士の交流や新たなボランティア活動の展開を図るために実施する。</p> <p>【実施内容等】 交流会</p> | 2月15日・1回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|---|---------|
| 介護者のつどい | <p>【対象者】 地域の介護者</p> <p>【目的】 講座による介護者の知識やスキルの向上やリフレッシュ、交流会による介護者同士の情報交換、悩みの共有</p> <p>【実施内容等】 講座・施設見学（5月） ・転倒防止について（7月） ・リフレッシュ体操（9月） ・排せつケアとおむつの使い方（11月） ・乾燥性湿疹に効く、米ぬか湯を作ろう（1月） ・介護者のための成年後見制度（3月） 交流会（5, 7, 9, 11, 1, 3月）</p> | 年6回 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------------------------|---|-----------------|
| 地域活性ワークショップ「こだわりの手前味噌を作ろう」 | <p>【対象者】 篠原地区の地域住民</p> <p>【目的】 ・「味噌作り」を通して、地域の中で顔見知りを作るきっかけや世代間交流の場づくり ・地域の新たな担い手発掘や地域支援につなげる</p> <p>【実施内容等】 ・味噌づくり ・交流会(体操等)</p> | 2回 1/21、2/18 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|------------------|---|--|
| 篠原地区デイサービス等職員交流会 | <p>【対象者】 篠原地区周辺の通所介護、及び小規模多機能型施設の職員</p> <p>【目的】 平成27年4月の介護保険の改正に伴い、介護予防・日常生活支援総合事業がはじまったことを受け、地域の介護保険事業所同士の顔の見える関係作りを行うことで、介護保険事業所が連携し、篠原地区の地域づくりにつなげることを目的に実施した。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会(情報交換) ・勉強会(介護技術の研修等) | <ul style="list-style-type: none"> ・交流会×3回 ⇒5/18、9/28、12/14 ・勉強会×2回 ⇒6/16、2/20 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------|--|---------------------------------|
| 民児協との情報交換会 | <p>【対象者】 篠原地区、及び篠原南地区の民生委員児童委員</p> <p>【目的】 個別ケースの課題や、地域情報及び課題把握</p> <p>【実施内容等】 民生委員児童委員の活動の中で得た情報(最近気になっているケース、対応に困っているケース)や、困りごとを挙げて頂き、情報を共有。今後の支援の方向性を確認。 ※民児協定例会の後に、自治会エリアごとに分けて実施。</p> | <p>篠原地区 × 5回 篠原南地区 × 4回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------------|---|------------------------------|
| 篠原・六角ネットワーク会議 | <p>【対象者】 六角橋地域ケアプラザ</p> <p>【目的】 地域住民の日常生活エリアが接している六角橋地域ケアプラザとの連携強化。</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各CPの実施事業や地域情報の共有。 ・地域カフェふれーるでのコグニサイズ講座の共催。 | <p>計3回 6/15、9/6、2/28</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------------------|---|--------------|
| 港北区高齢者虐待防止ハンドブック活用講座 | <p>【対象者】 地域のデイサービス職員</p> <p>【目的】 高齢者虐待防止法の主旨や各関係機関の役割と責務の理解を深め高齢者虐待防止について意識を高める</p> <p>【実施内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のデイサービスに出向き、職員に対し港北区高齢者虐待防止ハンドブックの活用した講座を開催 | <p>8月・1回</p> |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-----------------------------|---|------------|
| 健康づくりワークショップ「簡単椅子ヨガ&味噌玉づくり」 | <p>【対象者】 篠原地区の地域住民</p> <p>【目的】 平成28年度に実施した味噌作り講座から誕生した「しのはら味噌サポーター」と一緒に企画し、健康づくりの意識向上や地域の中で顔見知りを作るきっかけ、及び世代間交流の場作り。</p> <p>【実施内容等】 ・椅子に座ってできる「簡単椅子ヨガ」 ・味噌玉づくり</p> | 1回 7/15 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---|---|-------------|
| 篠原若返りサポーター養成講座「みんなでコグニサイズを広めよう！」フォローアップ講座 | <p>【対象者】 篠原地区 ミニデイサービスのボランティア</p> <p>【目的】 ボランティアの活動支援として、介護予防のためのプログラムを周知を行い、ミニデイサービスの活動活性化に繋げる。</p> <p>【実施内容等】 ・コグニサイズ</p> | 1回 11/30 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------------------|---|------------|
| 神奈川県生活支援サービス担い手養成研修 | <p>【対象者】 「生活支援サービス」をはじめとするボランティア活動に興味がある方</p> <p>【目的】 「介護予防・日常生活支援総合事業」における、地域の高齢者に対する見守り・買い物支援・外出支援などの生活支援サービスの担い手となる人材を養成し、担い手の裾野を広げることにより、地域包括ケアシステムの構築を目指す。</p> <p>【実施内容等】 ・講義 ・ワークショップ</p> | 1回 1/30 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------|---|------------|
| 音楽と落語の宅配便 | <p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 併設する地区センターと共催での事業</p> <p>【実施内容等】 落語ができるギタリストによる講演</p> | 1回 7/26 |

平成29年度 自主事業収支報告書

横浜市篠原地域ケアプラザ

| 事業名 | ①主な対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | | |
|-----------|-----------|---------|-------|-------|------|------|-------|------|--|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 | |
| ボランティア連絡会 | ①登録ボランティア | 8052 | 地活 | 6552 | 1500 | | | 8052 | |
| | ②15名 | | 包括 | | | | | | |
| | ③100円 | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| 音楽と落語の宅配便 | ①地域住民 | 10800 | 地活 | | | | 10800 | | |
| | ②46名 | | 包括 | 10800 | | | | | |
| | ③なし | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 介護 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |